



第 232 号

令和 6 年

5 月 14 日

## よろしくお願ひします

副校長 藤田 肇

秦野支援学校から、今年度瀬谷支援学校に異動して参りました藤田と申します。実は瀬谷支援学校は二度目の勤務となります。一度目は平成5年のことですから、今からざっと30年も昔の話です。まだ駅前に立派なバスターミナルはなく、瀬谷中学校のわきの相鉄線の跨線橋もありませんでした。瀬谷駅は北口と南口は別々の改札口で、直接南北に行き来できなかった頃のことです。

その時の学校の第一印象は、廊下を縦横無尽に走るパイプ。久しぶりにしげしげと眺めると、30年前と何も変わっていません。B棟と管理棟の間の梅も昔と変わらず青々としています。今もたくさんの実をつけるのでしょう。

気のせいか、グラウンドの築山だけは、何だか昔より「標高」が低くなったような、そうでないような。よく児童たちと芝すべりをしたものですが、あれからの年月、みんなが滑りすぎて削れてしまったのかな?なんて…。

とある朝、南門から見た満開の桜も何も変わっていませんでした。当時の児童たちが、今にもB棟の昇降口から出てきて元気に挨拶をしてくれるような、そんなタイムスリップした錯覚に陥りつつ、ふと鏡をみれば真っ白な自分の髪を見て、「これがホントの浦島太郎だな」と独り言ってみる令和6年の4月がありました。



## 【生きた教材としての学校給食 瀬谷の給食室より】

今年度もお世話になります。栄養士の碓井です。保護者の皆さまや地域の方々、先生方のご理解・ご協力、そして「おいしい!」と言いながら給食を食べてくれる子どもたちのおかげで日々充実した給食提供ができます。いつもありがとうございます。

学校給食は「学校給食法」に基づき実施されています。バランスの良い食事を提供することにより、子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせることなどを目的としており、単なる食事ではなく教育の一環に位置付けられています。また、給食は「生きた教材」といわれ、栄養のバランス、食文化、行事食、旬の食材、地場産物など、1日の献立からたくさん情報をお伝えすることができます。今年度も給食の献立表を瀬谷支援学校のホームページに掲載します。保護者の方だけでなく、地域の方や放課後支援の方々にも給食の情報を伝えし、ご活用いただけたらと思っております。



### ✿ お願い ✿

給食の欠食届の締め切りは、欠食日の3週前の金曜日の朝までです。  
ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。